

地域の高齢者が行う地域貢献活動 日本生命財団「生き生きシニア活動顕彰」

公益財団法人日本生命財団（長谷川靖理事長）が行う助成事業「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会をめざして」の1つ、「生き生きシニア活動顕彰」（高齢者が主体となって行う地域貢献活動）を高千穂ひかりの会稲葉和子会長が授賞しました。

同会は、約22年前に発足。現在には6人の会員で、主に町が毎月発行する広報誌を視覚障害者のために音訳する活動を行っています。



地域社会に貢献する （株）ケーブルメディアワイワイより寄付

8月26日、株式会社ケーブルメディアワイワイ（福田達也代表取締役社長／本社・延岡市）から、町政発展に役立ててほしいと、町長室で寄付金の贈呈式が行われました。

贈呈式では、高野剛一代表取締役専務から町長へ目録が手渡され、「町の発信や文化継承など、いろいろな形で弊社の情報ツールを用いながら、後世に伝えていく役割のひとつとして貢献できれば」とあいさつしました。



高品質で色鮮やか 花き園芸組合が夏の花を贈呈

8月8日、高千穂町花き園芸組合（土持陽宏組合長）が町長室を訪れ、甲斐町長と町議会職員、町助夫議員に、町内で栽培された色鮮やかな小菊やリンドウ、ホオズキなどを贈呈しました。

土持組合長は「暑い日が続くが、生産者はがんばってきれいな花を作っている。燃料や肥料価格の高騰、後継者不足など厳しい経営が続いており、今後ともご支援とご協力ををお願いします」とあいさつし手渡しました。



姉妹都市30周年 豊見城市長らが表敬訪問

8月1日、沖縄県豊見城市の徳元次人市長と同市議会外間剛豊議長、昨年度（6月から3月末）姉妹都市人事交流で本町に派遣されていた中江誠主任主事が、町役場を表敬訪問しました。

豊見城市（旧豊見城村）とは、太平洋戦争中の学童疎開が縁で、終戦後50年を迎えた1995年に姉妹都市盟約を締結。本年度30周年を迎え、スポーツ少年団やエイサーなど、さまざまな交流が続いています。



9月9日執行 任期満了による高千穂町議会議員選挙結果

9月9日に行われた「高千穂町議会議員選挙」は、定数13人に対し、立候補者14人で争われました。

10日、役場大会議室において当選証書付与式が行われ、甲斐通久町選挙管理委員会委員長から一人ひとりに当選証書が手渡されました。

・当日有権者数	9,179 人	(男 4,398 人／女 4,781 人)
・投票者数	6,758 人	(男 3,248 人／女 3,510 人)
・投票率	73.62 %	(男 73.85 %／女 73.42 %)
・有効投票数	6,730 票	
・無効投票数	28 票	



当	佐藤	さつき	858 票
当	桐木	敏隆	769 票
当	馬原	英治	747 票
当	富高	健一郎	665 票
当	本願	和茂	475 票
当	中島	早苗	472 票
当	工藤	博志	429 票
当	板倉	哲男	399 票
当	市野	辰廣	392 票
当	佐藤	春男	360 票
当	磯貝	助夫	345 票
当	佐藤	孝子	331 票
当	田中	義了	251 票
	藤田	利廣	237 票

※敬称略

めんそ〜れ 沖縄県豊見城市とのスポーツ交流

8月15日からの3日間、豊見城市スポーツ少年団のサッカー団員12人と指導者らが来町。16日に西臼杵FCの団員らとの交流試合やバーベキューをするなどし交流を深めました。

歓迎式では、豊見城市のサッカーチーム「とみしろGMC」代表と那嶺祐真さんは「高千穂町の文化や歴史、自然を学びながら交流を深めたい。交流試合では、ベストを尽くして全力で楽しみたい」とあいさつしました。



「高千穂町花の日」キャンペーン 町内の事業所へ花を贈る

8月8日、高千穂町花の日推進会議会長・甲斐宗之町長が町内11事業所を訪れ、リンドウや小菊、ホオズキを贈りました。

町では、花卉栽培の振興と花に彩られた住みよい町づくりの推進のため、8月7日を「高千穂町花の日」として制定しています。

花束を受けとった高千穂町商工会の藤本浩会長は「すばらしい花をいただき、大変うれしい。事務所に飾ってみなさんにお披露目したい」と話しました。

